

令和6年度（2024年度）版
環境基本計画年次報告書

～東海市の環境の現状と施策の展開～



東 海 市

令和6年（2024年）7月

目 次

成果指標の評価

1	重点プロジェクト「環境教育」の実施状況	1
2	成果指標評価表	
柱 1	環境教育	
・ 分野 1	環境教育	2
柱 2	環境対策	
・ 分野 2	大気・ばいじん	4
・ 分野 3	悪臭・騒音	5
・ 分野 4	水質	6
柱 3	環境保全・再生・創造	
・ 分野 5	地球温暖化対策	8
・ 分野 6	環境美化	9
・ 分野 7	緑・水・生き物	11
柱 4	循環型社会	
・ 分野 8	3 R 活動	13
・ 分野 9	適正排出・処分	15

参考資料

1	環境基本計画の概要	17
2	環境の柱ごとの基本的な施策	19
3	成果指標の算出方法	21
4	成果指標一覧表	23
5	計画推進の検討過程	25
6	環境基本計画推進委員会委員名簿	26

成果指標の評価

1. 重点プロジェクト「環境教育」の実施状況

(1) エコスクール

エコスクールは、5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行したことを受けて、全講座で定員をコロナ禍実施前の人数に戻して開催したところ、講座開催数は31講座（対前年度2講座増）となり、参加者数も1,112人（対前年度166人増）と増加しました。

また、公募講座の新設に積極的に取り組み、「セミの羽化を見てみよう！」「東海市自然探検隊③～中川で生き物を調べよう～」「農作物から環境を学ぼう」の3講座を新規開催した結果、全ての講座で多数の申込をいただき、実施後のアンケートでも高い満足度となりました。

(2) 環境イベントによるきっかけづくりと仲間づくり

東海秋まつりにおいて環境ひろばを開催し、王滝村のヒノキ、市内で採取したどんぐり等を使用した自然工作を実施し、82人が参加（昨年度は81人）しました。また、自然工作の隣で、動物愛護センターと協力して啓発グッズの配布及び地域ねこ活動の説明を実施し、多くの来場者に対し地域ねこ活動の啓発を行いました。

(3) ふるさと再生を目指して ～いきものの生息空間の保全・再生～

ア 加木屋緑地において、「21世紀の森づくり事業」で市民植樹した在来種の樹木の育成管理に努めている他、ヘイケボタル、アサギマダラ等の生息環境の確保のため、ビオトープの保全、再生に取り組みました。

イ 生物多様性の保全の観点から、新宝町におけるアルゼンチンアリの駆除を毎月実施するとともに、市に広く分布するオオキンケイギクの駆除に関して、コミュニティを通じての啓発及び広報への記事掲載やパンフレットの配布による啓発に取り組みました。

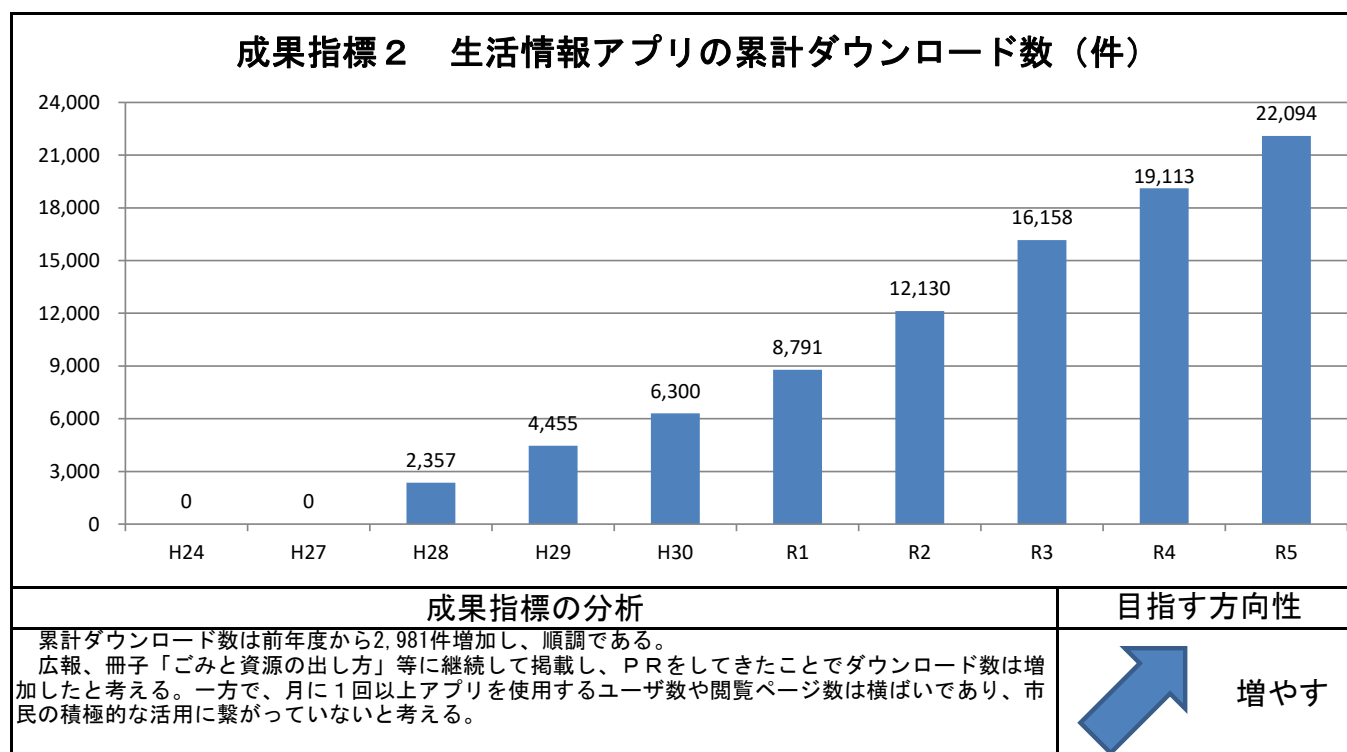
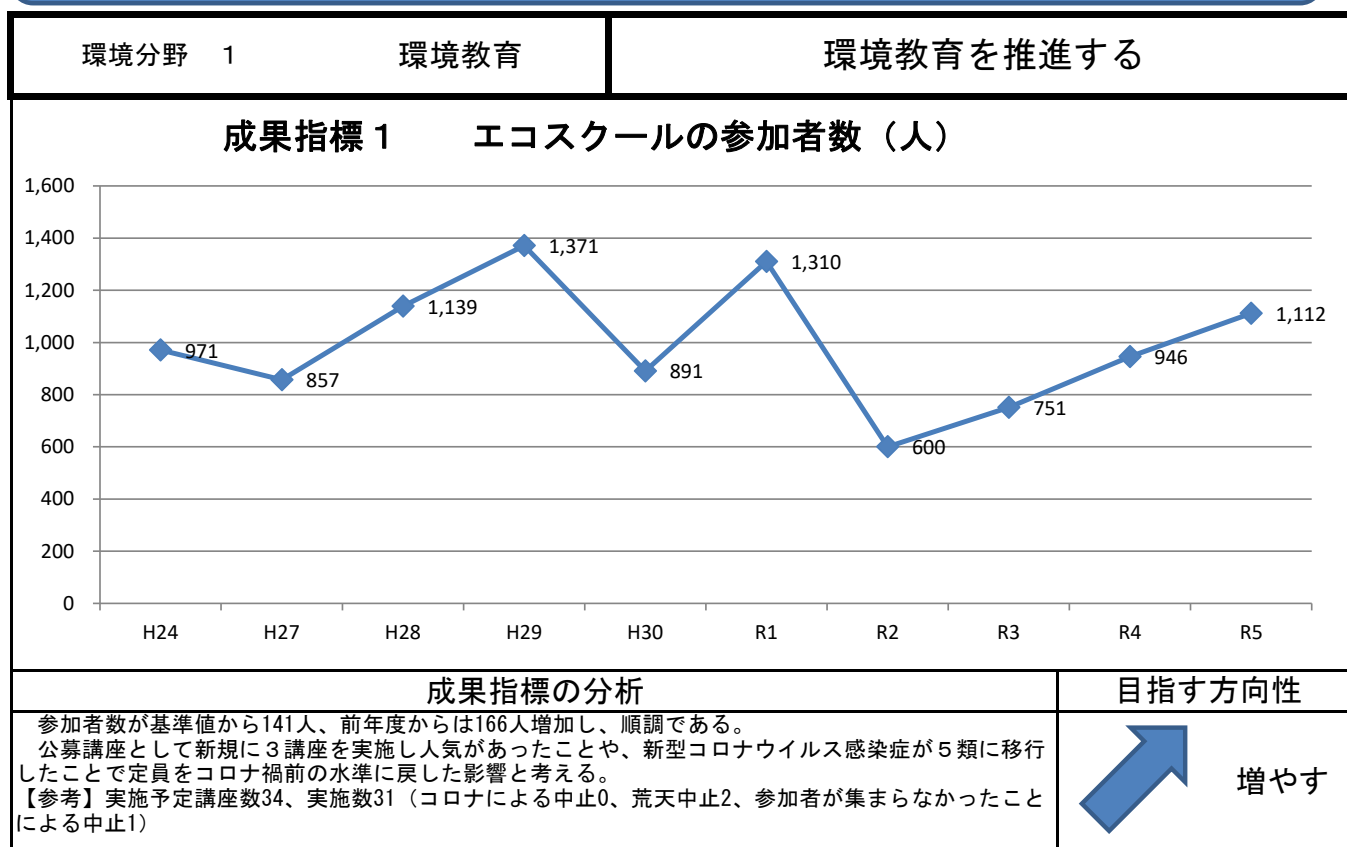
(4) 生活情報アプリなどによる情報提供

エコスクールの申込について、昨年度に一部講座において、WEBで受付できる講座数を実施したところ好評であったことから、すべての事務局講座と公募講座でWEB申込ができるようにしました。申込数は年によって増減するため単純な比較はできませんが、利便性の向上により申込数が増加していると考えています。また、エコスクール講座として新規に実施した温暖化関連講座について、ケーブルテレビで放送する取組を新規実施し、市民に広く情報提供を行ないました。

2 成果指標評価表

基準値はH24数値。目指す方向性の欄は、めざそう値(R5の数値)がある場合はその数値を記載し、めざそう値がない場合は矢印で方向性を示すもの

環境の柱 1 環境教育



1 前年度の基本計画推進委員会で設定した今後の取組方針

- ・エコスクールをWEB申し込みとした影響を分析し、落選者へのフォローアップを含め、多くの市民に参加してもらえる講座を開催していく。
- ・地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定しているため、地球温暖化対策に係るエコスクールを充実させる。
- ・エコスクールの様子の周知を、写真だけではなくPR動画を作成するなど、多くの市民に興味を持ってもらえる方法を検討する。

2 令和5年度（2023年度）の主な事業等

【主な事業】

- （継続）エコスクール開催補助事業
市内や市外でエコスクールを開催するために、エコスクール実行委員会へ補助を行った。
 - (1) 実施講座数
31講座
 - (2) 参加者数
1,112人
- （継続）3R活動啓発事業
スマートフォンの普及に伴い、市民生活情報をアプリケーションシステム「東海なび」により発信した（発信情報：イベント情報、ごみに関する情報、避難所情報、公共施設情報等）

【改善点等】

- （新規）昨年度一部の講座で導入したWEB申し込みを、他の講座でも行なったところ、一部の講座で定員を大きく上回る応募があった。

【講座別申し込み状況】

- (1) 名古屋港の水質を実感しよう！
定員：24人 応募数：37人 倍率：1.5倍
- (2) 東海市自然探検隊
 - ア 横須賀新川で生き物を調べよう
定員：30人 応募数：61人 倍率：2.0倍
 - イ 上野新川で生き物を調べよう
定員：30人 応募数：63人 倍率：2.1倍
 - ウ 中川で生き物を調べよう
定員：30人 応募数：40人 倍率：1.3倍
- (3) セミの羽化を見てみよう
定員：20人 応募数：47人 倍率：2.4倍

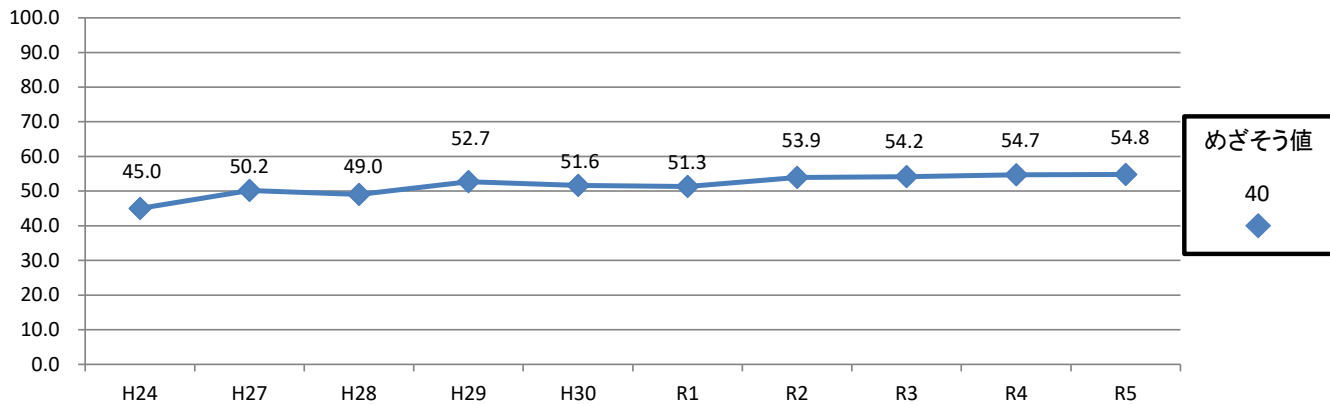
環境の柱 2 環境対策

環境分野 2

大気・ばいじん

きれいな空気を守る

成果指標3 大気汚染などにより、日常生活に支障があると感じている人の割合(%)



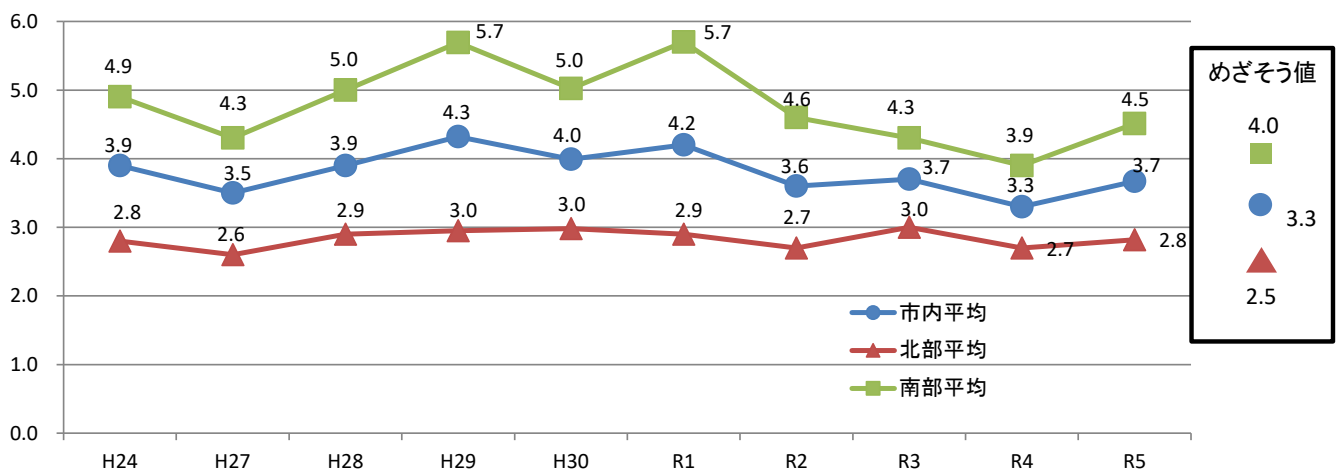
成果指標の分析

基準値と比べ9.8ポイント手増加しており、順調でない。
市民アンケートでは、子育て世代や降下ばいじんの多い市南西部地区の割合が高くなっている。また、「降下ばいじんの量」が減少する中でも本指標が増加していることから、企業が降下ばいじん対策を実施しているものの、市民の実感に結びついていないこと及び市民の環境意識の高まりが原因と考える。

目指す方向性

40%

成果指標4 降下ばいじんの量 (t/km²・月)



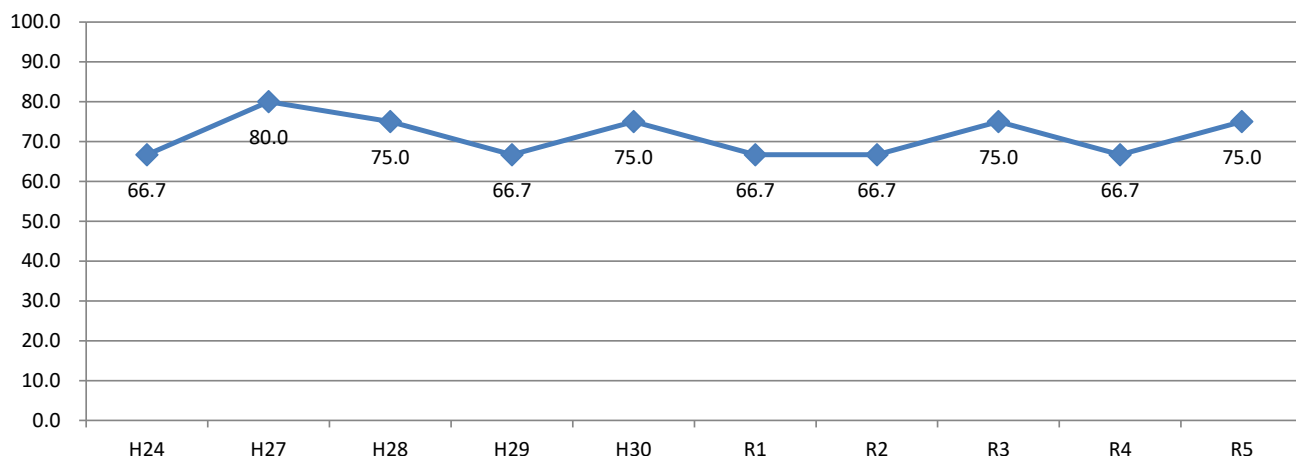
成果指標の分析

市内と南部は基準値より減少しているが、北部は同値で、市内・北部・南部ともに前年度から増加しており、順調でない。
前年度から増加した理由は不明確であるが、前年度は気象条件や臨海部企業の生産状況等の影響により相対的に少なかったものとする。また、南部は北部に比べて数値が高い状況が継続している。

目指す方向性

3.3t/km²・月(市内)
2.5t/km²・月(北部)
4.0t/km²・月(南部)

成果指標5 環境騒音基準値の適合率(%)



成果指標の分析

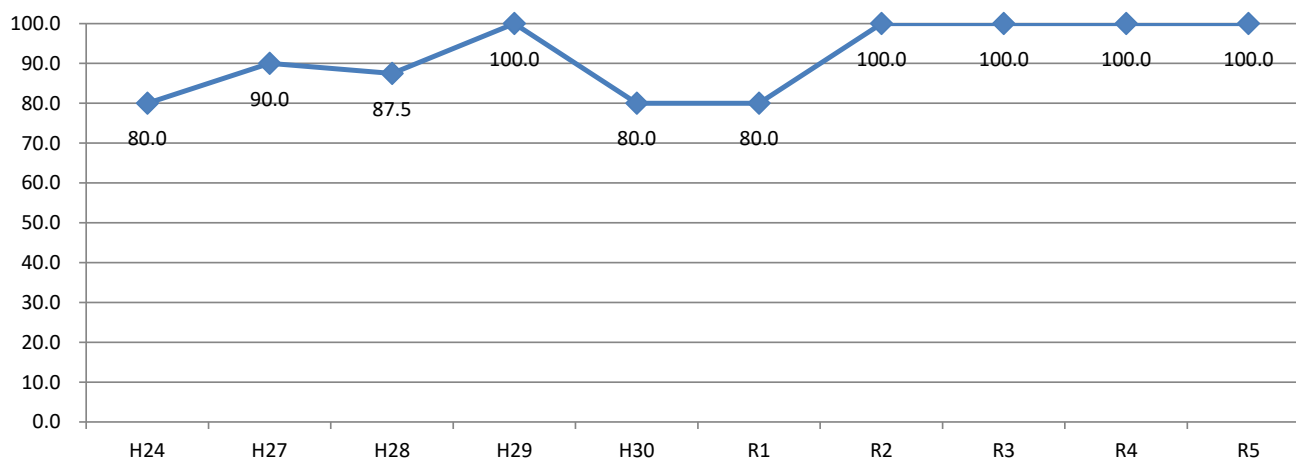
前年値より8.3ポイント改善しているが、年により増減を繰り返しており、横ばいである。
 例年と同様に、昼間時間帯（6-22時）に比べて基準値が厳しい夜間時間帯（22-6時）の適合率が低い。なお、年度内において市民からの環境騒音に係る苦情はほとんどない。

目指す方向性



増やす

成果指標6 自動車交通騒音基準値の適合率(%)



成果指標の分析

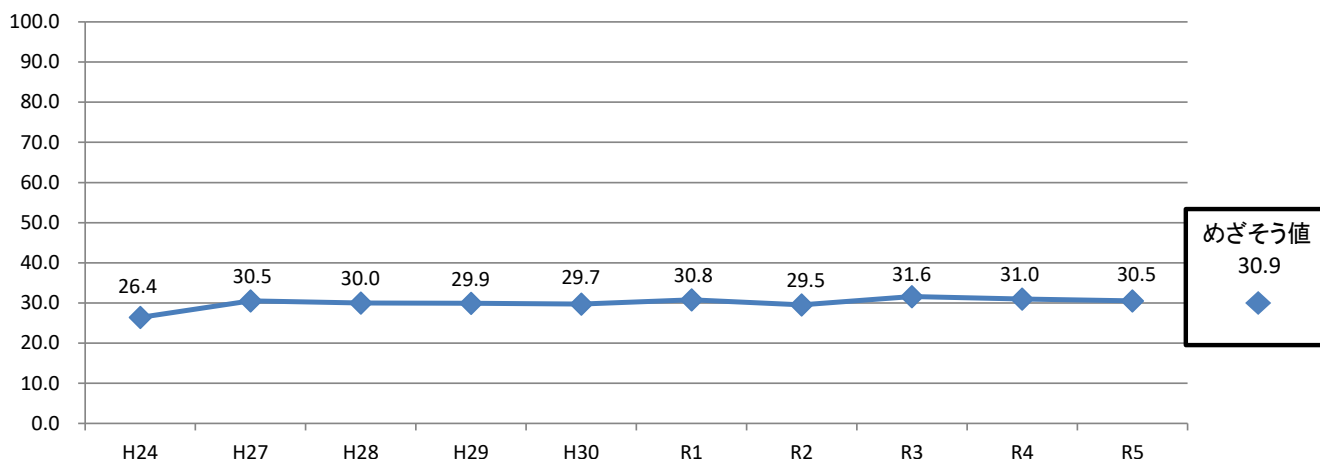
基準値から20ポイント向上し、前年度に引き続き全地点で適合しており、順調である。
 年度内において市民からの道路騒音に係る苦情はほとんどない。

目指す方向性



増やす

成果指標7 市内の川の水がきれいであると感じている人の割合(%)



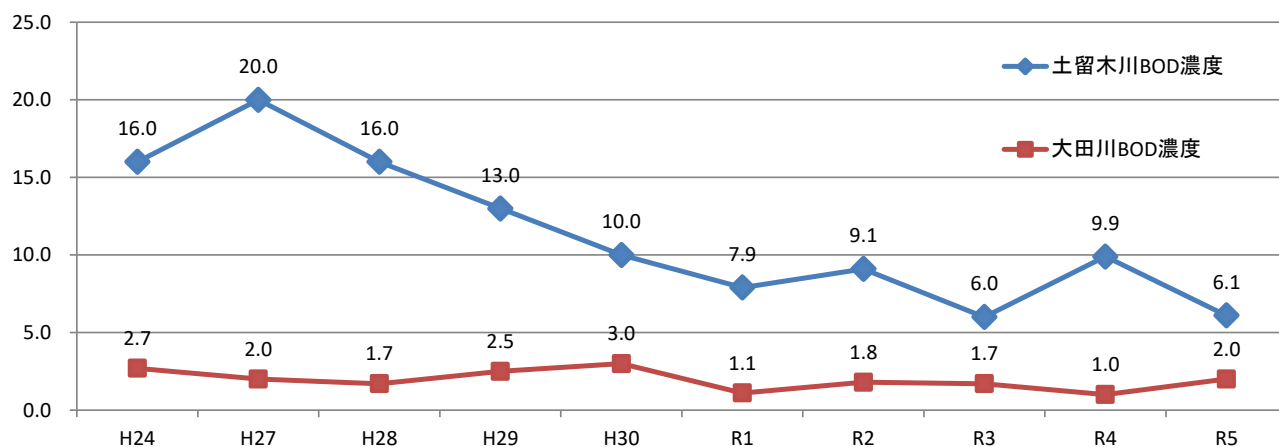
成果指標の分析

基準値と比べ4.1ポイント増加しているが、前年度から0.5ポイント減少しており、横ばいである。年齢別では、65歳以上の割合が高く、昔と比較すると川の水が大幅にきれいになっていると考える。学区別では緑陽・名和小学校区の割合が低く、土留木川の水質は改善しているものの、他の河川に比べるときれいではないことが影響していると考えられる。

目指す方向性

30.9%

成果指標8・9 河川のBOD濃度(mg/ℓ)



成果指標の分析

土留木川は、基準値と比べ9.9ポイント、前年度と比較して3.8ポイント改善し、順調である。BOD濃度は採取状況や気象条件などの影響を受けるため、今後の推移を注視する必要があるが、下水道整備及び下水道接続率の向上により改善傾向にあると考える。前年度と比較して1.0ポイント悪化しているものの、大田川は、基準値と比べ0.7ポイント改善しており、十分に低い数値で推移していることから、順調である。早期に下水道整備が進んでいること及び市民の環境意識の高まりが要因と考える。

目指す方向性



減らす

1 前年度の基本計画推進委員会で設定した今後の取組方針

- ・市と事業所が協力し、事業所の降下ばいじん対策について市民が実感できる方法等を検討する。また、広報とうかいや市ホームページを活用した、降下ばいじんに係る情報発信を積極的に行う。
- ・引き続き河川の水質改善状況が市民に伝わるようなイベントや環境学習の実施を検討する。

2 令和5年度（2023年度）の主な事業等

【主な事業】

●（継続）大気分析事業

大気汚染自動測定器による大気環境測定及び降下ばいじん等の個別の項目における測定を実施した。環境基準のある項目については、光化学オキシダントを除き適合した。なお、光化学オキシダントは愛知県の実験局において基準値未達成となっている。

●（継続）騒音測定事業

市民に住みよい環境を保全するため、騒音測定をした

- ・環境騒音測定 6地点 基準値適合率 75%
- ・自動車騒音測定 5地点 要請限度適合率 100%
- ・夜間工場騒音測定 7事業所 全事業所において協定値適合

●（継続）水質分析事業

住みやすい環境を維持するため、河川、ため池、事業所の水質を分析した

- ・分析内容 河川(8地点)、ため池(16地点)、工場排水(15地点)の水質分析

【改善点等】

●（変更）広報とうかいにおいて、降下ばいじん削減に向けた取組内容について、令和4年度から引き続き、大気測定結果に関するページの拡充を図った。また、鉄鋼3社、県及び市で構成される降下ばいじん検討会において、市から鉄鋼3社に対して降下ばいじん対策の積極的な情報公開を要請した。

●（新規）河川の水生生物を観察する環境学習をこれまで実施していなかった場所で行なった。

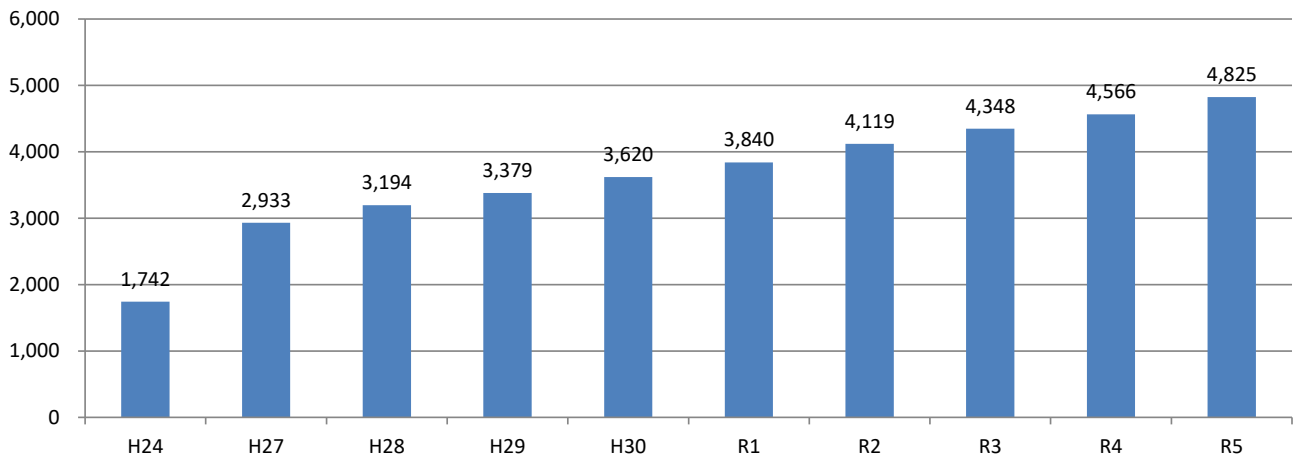
環境の柱3 環境保全・再生・創造

環境分野 5

地球温暖化対策

低炭素なまちづくりを目指す

成果指標10 太陽光発電システムの累計設置件数(件)



成果指標の分析

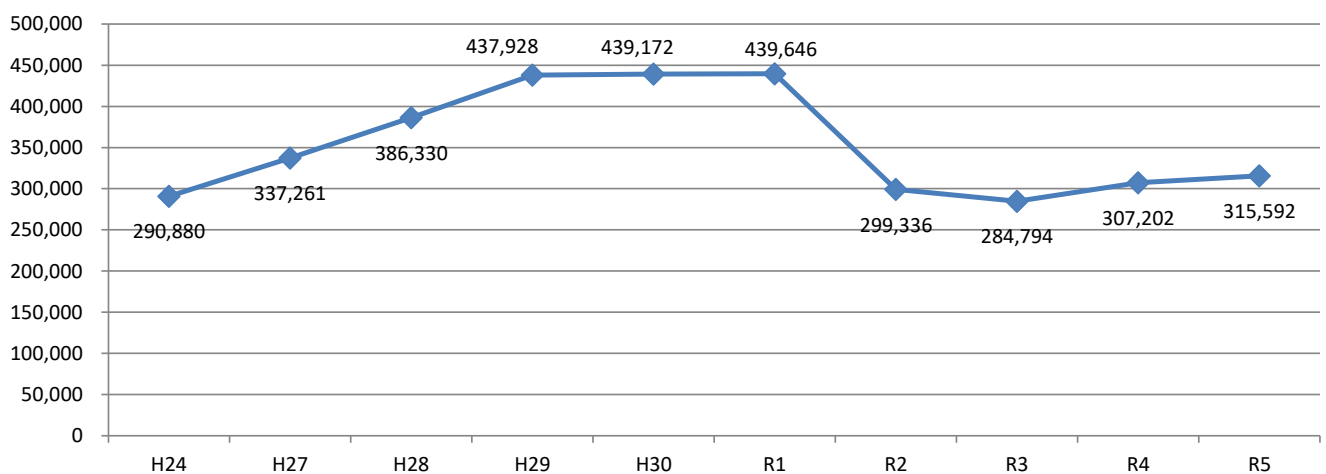
累計設置件数は、基準値より3,083件、前年度から259件増加しており、順調である。
電気料金の値上がりが続いていることから、再生可能エネルギーの導入に対する関心が高くなっている中で、市内で大規模宅地開発が進展しており、設置件数が増えたと考える。

目指す方向性



増やす

成果指標11 らんらんバスの年間利用者(人/年)



成果指標の分析

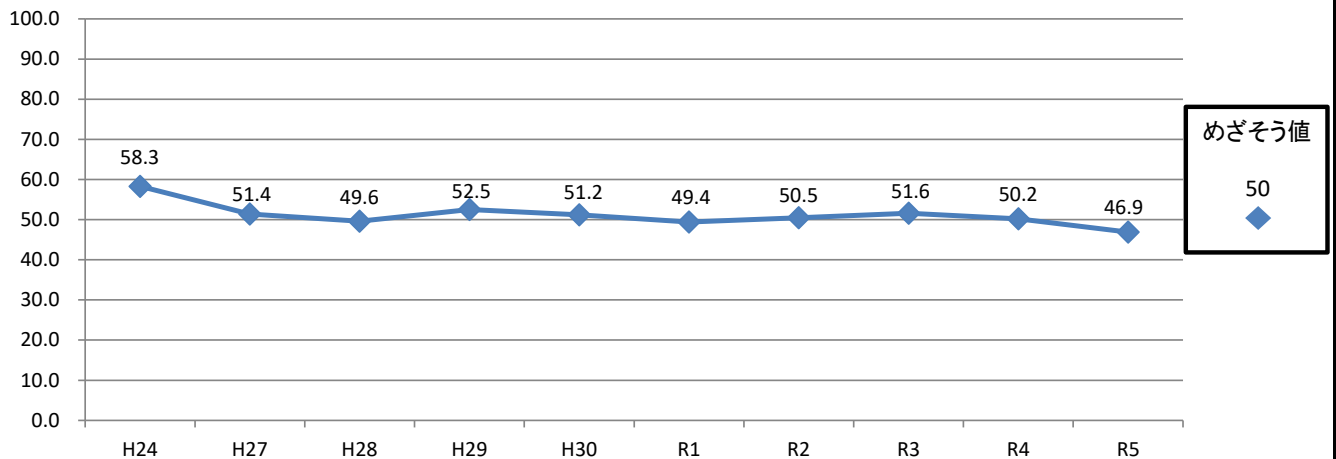
基準値より24,712人増加しているが、元年度と比べると124,054人減少しており、順調でない。
コロナ禍前の水準に経済活動は戻りつつあるが、2年度のダイヤ改正の影響や、コロナ禍による社会環境の変化等により、年間利用者が回復していないと考える。

目指す方向性



増やす

成果指標12 地域内にポイ捨てが目立つと感じる市民の割合(%)



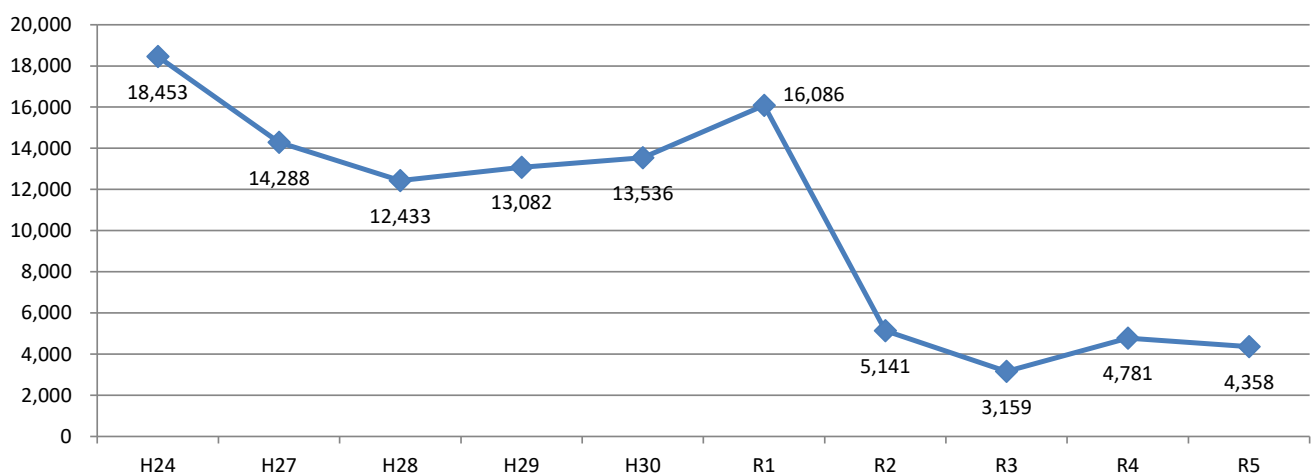
成果指標の分析

基準値から11.4ポイント改善し、めざそう値を達成するとともに、現計画期間で最も良い数値であることから、順調である。
市の地域美化推進事業における道路等のゴミの回収量も現計画期間内で最少であり、環境意識の高まりにより道路等へのポイ捨てが減っているものと考えられる。

目指す方向性

減らす

成果指標13 地域の清掃活動に参加した人数(人)



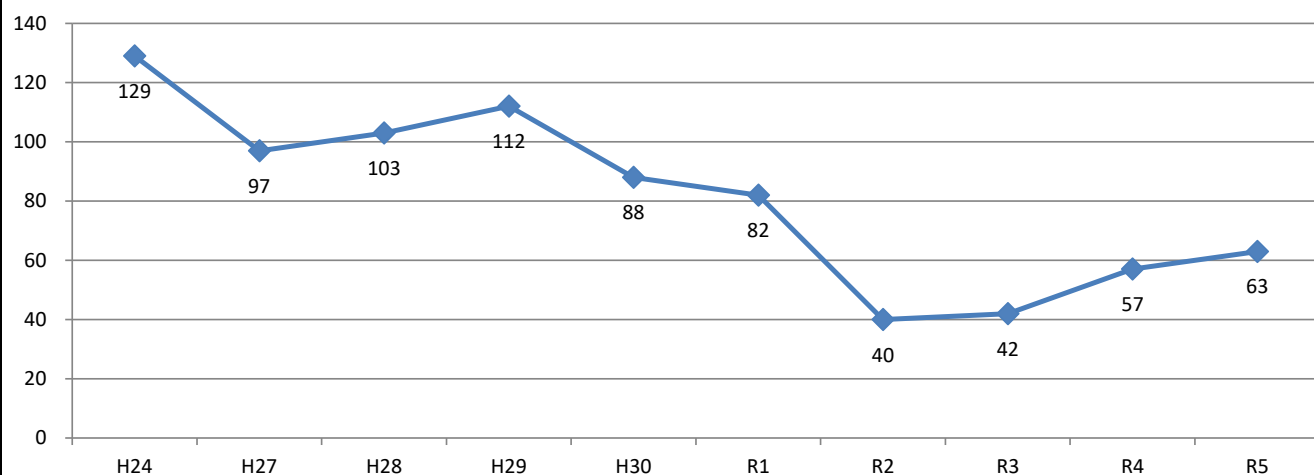
成果指標の分析

基準値と比べ14,095人減少するとともに、前年度から423人減少しており、順調でない。
新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、コミュニティ・町内会連合会・事業者・団体等のいずれも活動量がコロナ禍前に比べて減少しており、地域団体の加入率や役員の担い手の減少、事業者・団体における活動量の減少等の影響と考える。

目指す方向性

増やす

成果指標 1 4 地域の清掃活動に参加した団体数（団体）



成果指標の分析

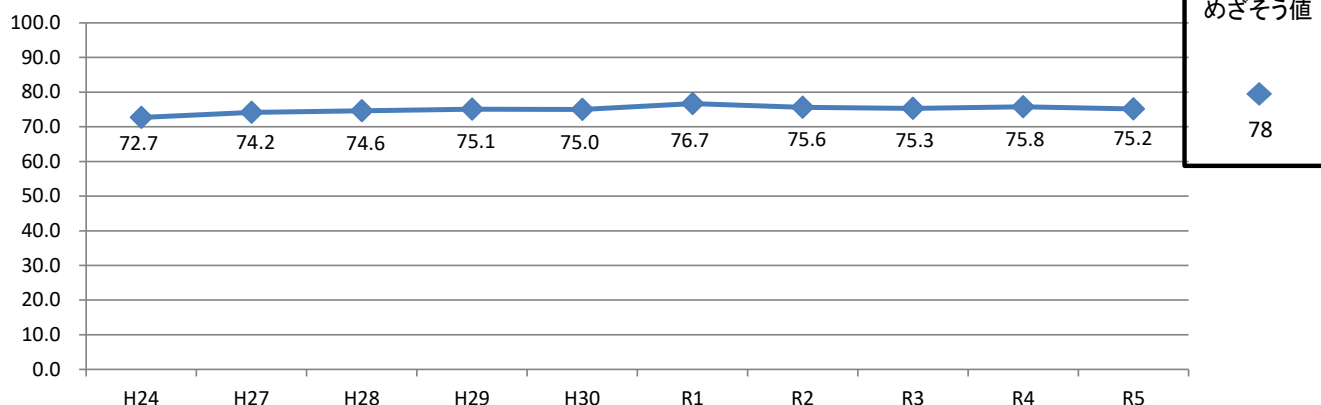
前年度からは6団体増加したが、基準値と比べ66団体減少しており順調でない。
 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、コミュニティ・町内会連合会・事業者・団体等のいずれも活動量がコロナ禍前に比べて減少しており、地域団体の加入率や役員の担い手の減少、事業者・団体における活動量の減少等の影響と考える。

目指す方向性



増やす

成果指標15 花や緑が充実していると思う人の割合 (%)



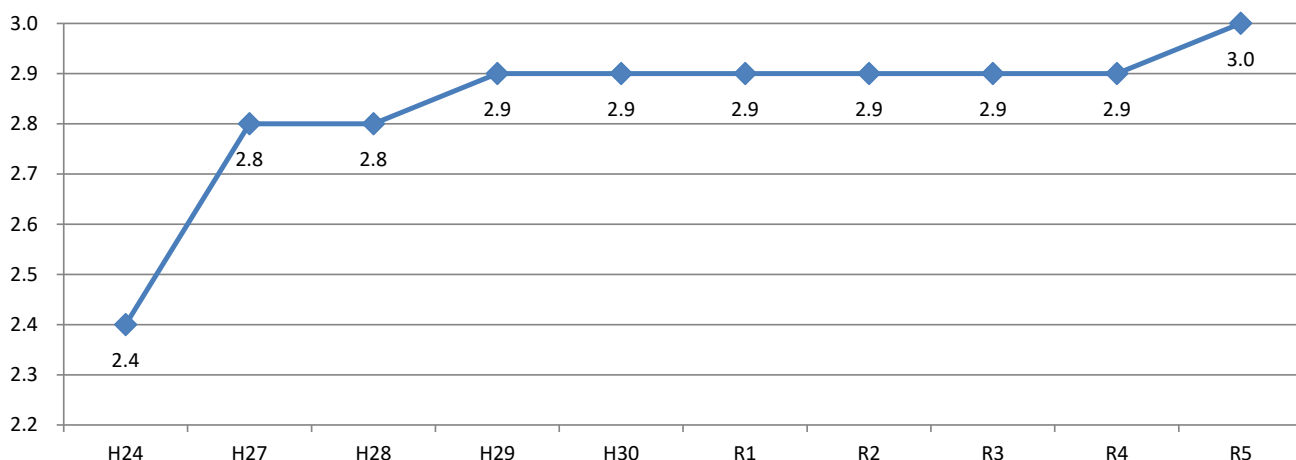
成果指標の分析

基準値と比べ2.5ポイント増加しているが、横ばいである。
公園緑地整備及び花と緑のまちづくりの推進と、適切な維持管理を実施しているものの、コロナ禍で停滞した花のまちづくり運動等の活動量が回復していないことが要因であると考える。

目指す方向性

78%

成果指標16 東海市の面積に対する都市公園面積の割合 (%)



成果指標の分析

基準値と比べ0.6ポイント増加し、前年度から0.1ポイント増加しており、順調である。
都市公園は計画的に整備を進めており、令和5年度中に新たに供用開始となった公園があったため増加した。

目指す方向性

増やす

1 前年度の基本計画推進委員会で設定した今後の取組方針

- ・地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の推進については、市民・事業者・行政が一体となって取組むことが重要であることから、まずは市が積極的に啓発を進める。
- ・環境美化について意識醸成が進んでいることを踏まえ、今後は地域の清掃活動に参加する市民及び団体数が増加するような方策を検討し、地域美化活動を推進していく。

2 令和5年度（2023年度）の主な事業等

【主な事業】

- （継続）住宅用地球温暖化対策設備導入促進補助事業
再生可能エネルギーの利用の促進のため、住宅用太陽光発電システム、HEMS、定置用リチウムイオン蓄電システム、家庭用燃料電池システム、電気自動車等充給電設備及び高性能外皮の設置に対して補助をした。
令和5年度から太陽熱利用システムについても補助対象とした。
 - ・補助実績 HEMS24件、家庭用燃料電池システム14件、蓄電池89件、電気自動車等充給電設備5件、太陽光発電施設との一体的導入55件、太陽熱利用システム0件
- （継続）地域美化推進事業
ごみのないまちづくりを目指すため、不法投棄監視パトロール、不法投棄ごみの回収、道路等公共施設の清掃等を実施した。
 - ・不法投棄監視パトロールによるごみの回収量 4,865kg
- （継続）自然環境再生事業
『ふるさとの自然』を保全・再生し、ホタル、アサギマダラ等の身近な生き物とふれあい、自然環境を守り育てていくことの大切さを学ぶイベントを開催した。
 - ・場所 加木屋緑地
 - ・内容 ビオトープづくり及び植栽会(4回)
 - ・参加者数 179人(4回)

【改善点等】

- （新規）市内の企業緑地の自然共生サイト認定
企業11社、NPO、大学生、専門家、行政（県・東海市・知多市）が協力し、生物多様性の保全に取り組んできた緑地（知多半島グリーンベルト）が、令和5年10月に「自然共生サイト※」の認定を受けた。

※令和3年（2021年）6月のG7サミットで合意された「G7 2030年自然協約」に基づく、日本における30by30の取組みの一環であり、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定するもの

【その他】

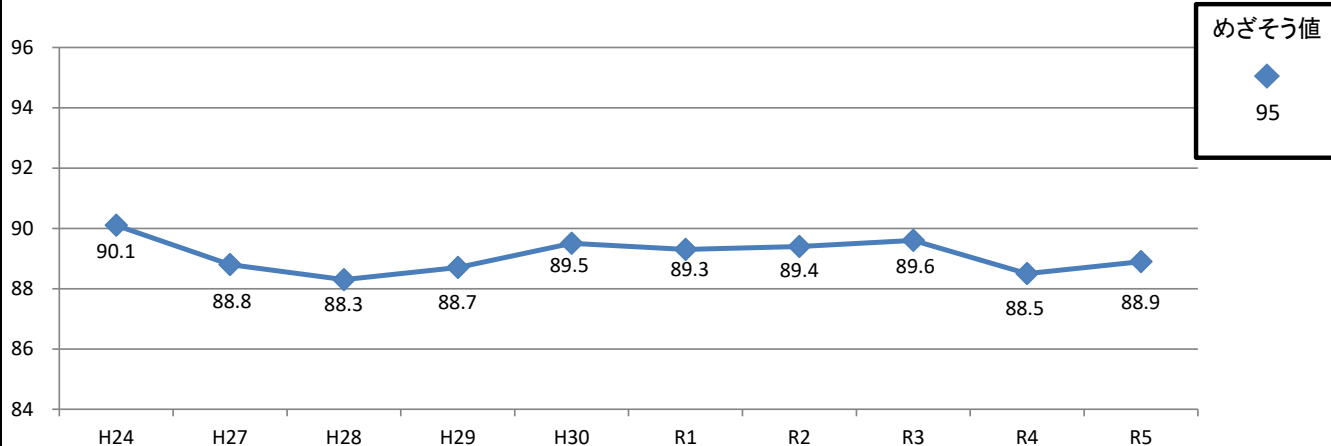
地球温暖化対策として、令和5年（2023年）10月にらんらんバス（南ルート）にEVバス2台を導入した。
また、地球温暖化対策啓発グッズ（うちわ、コットンバッグ等）、啓発チラシを作成し、市内イベント等で配布した。

環境分野 8

3 R 活動

ごみ減量と資源化を推進する

成果指標17 ごみ減量、リサイクルを心がけている人の割合(%)



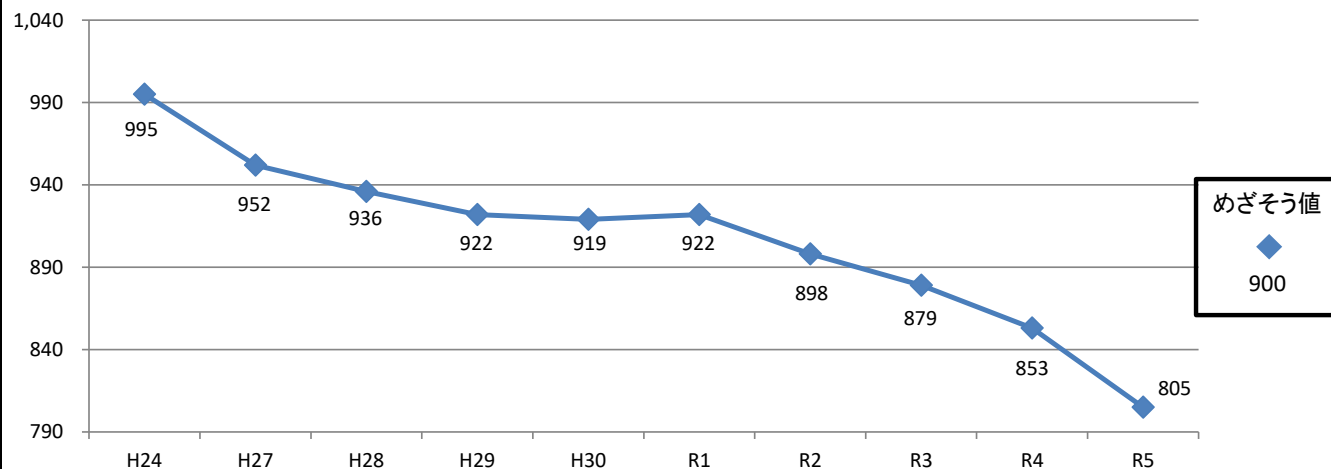
成果指標の分析

基準年以降高い割合を維持しているものの、基準値と比べ1.2ポイント悪化しており、順調でない。職業別の主婦がめざそう値を達成している一方で、学生の割合は低く、年齢別では若年層が低い。

目指す方向性

95%

成果指標18 市民一人当たりのごみの総量(g/人・日)



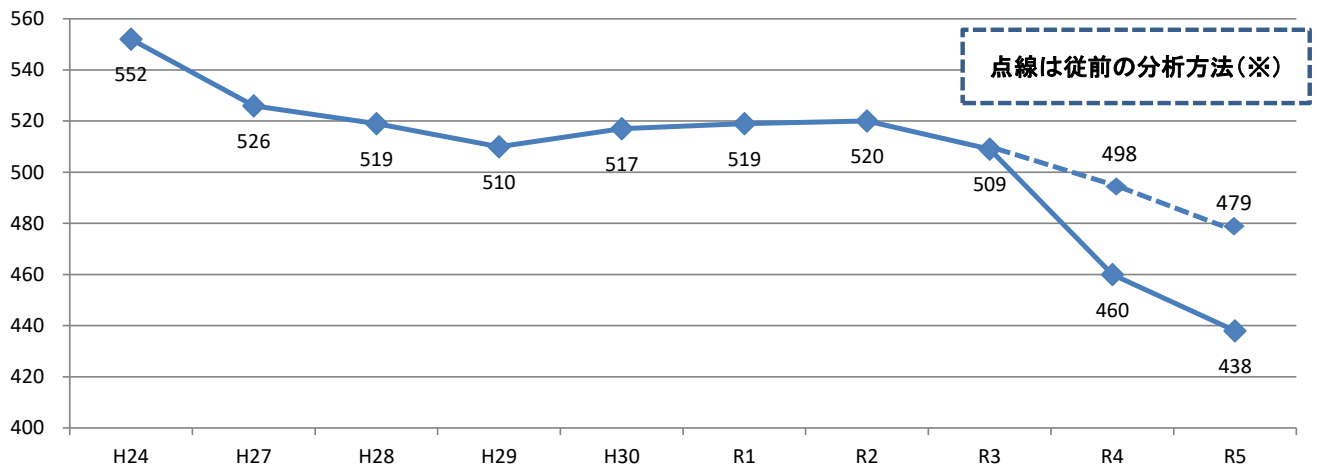
成果指標の分析

基準値と比べて190g/人・日減少し、めざそう値の900g/人・日を下回っており、順調である。家庭系ごみ、事業系ごみ、資源の全てが減少しており、家庭系ごみはモノ消費からコト消費への変化等価値観の多様化、事業系ごみは事業者の一部が草木類の処理を民間リサイクル施設へ持ち込むようになったこと、資源はごみの全体量が減少したことで資源に分別できるごみも減少したことが考えられる。

目指す方向性

900g/人・日

成果指標19 市民一人当たりの家庭系ごみの排出量(g/人・日)



成果指標の分析

基準値と比べ114g/人・日減少し、前年度と比べ22g/人・日減少している。なお、従前の分析方法※の場合は479g/人・日で、基準値に比べ73g/人・日減少し、前年度と比べ19g/人・日減少していることから順調である。

モノ消費からコト消費への変化等価値観が多様化し、サブスクリプションやシェアリングエコノミー等モノの所有にこだわりがなくなった結果、家庭系ごみが減少したと考える。

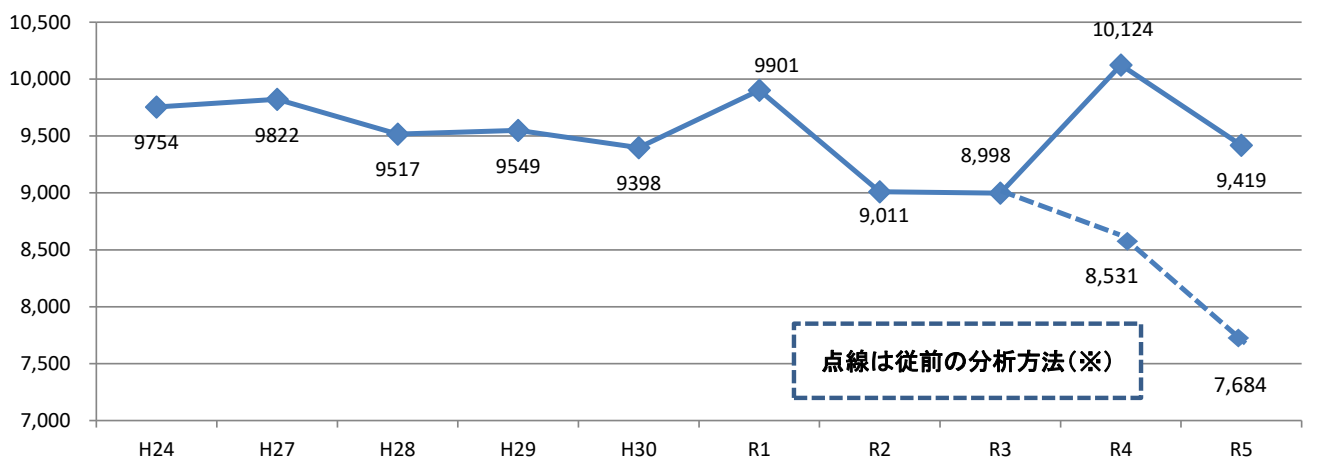
※令和3年度までは公共施設から排出されたごみを家庭系ごみとしていたが、令和4年度より公共回収を開始し、事業系ごみとした。

目指す方向性



減らす

成果指標20 事業系ごみの総排出量(t)



成果指標の分析

事業系ごみの総排出量は基準値に比べ335t減少し、前年度に比べ705t減少した。なお、従前の分析方法※の場合は7,684tで、基準値に比べ2,070t減少し、前年度に比べ847t減少していることから、順調である。

草木類の持ち込みが多い事業者に対しリサイクルを呼び掛けたところ、事業者が草木類の処理を民間木材リサイクル施設へ変更したことから、事業系ごみの総排出量が減少したと考える。

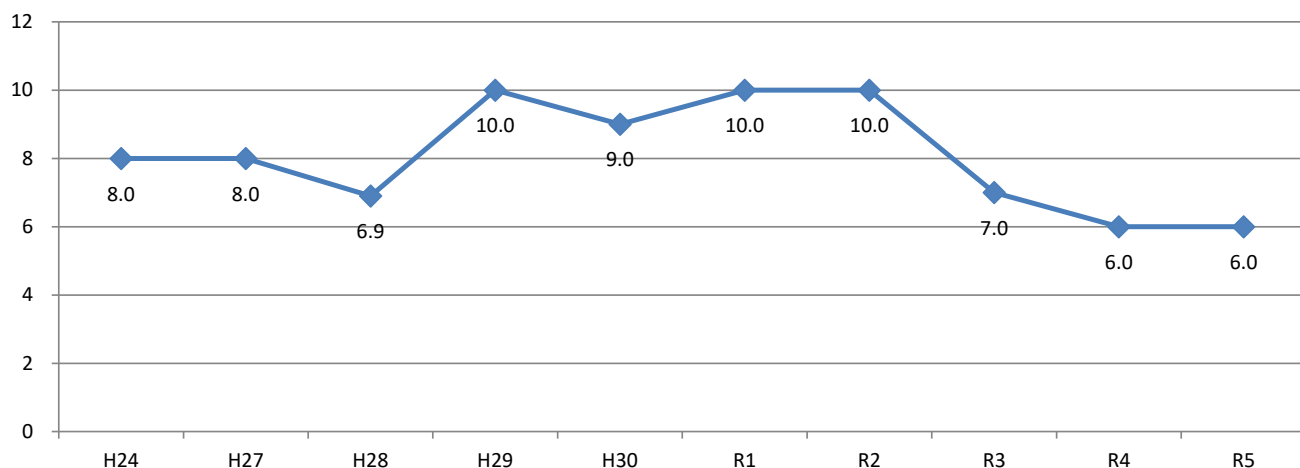
※令和3年度までは公共施設から排出されたごみを家庭系ごみとしていたが、令和4年度より公共回収を開始し、事業系ごみとした。

目指す方向性



減らす

成果指標21 プラスチック製容器包装の不適合物(%)



成果指標の分析

前年度と同値であるが、基準値と比べ2ポイント改善しており、順調である。
継続的に広報や東海なびで啓発を続けたことで、市民の分別意識が向上し、排出する段階で不適合物の除去がされていることが要因と考える。

目指す方向性



減らす

1 前年度の基本計画推進委員会で設定した今後の取組方針

- ・若年層を対象にごみ減量、リサイクルの意識付けを促すため、市公式SNSを活用した啓発活動を実施する。また、児童を対象とした環境学習を充実させる。
- ・コロナウイルスが第5類に引き下げられたので、一般廃棄物収集運搬許可業者の搬入ごみの展開検査の再開や、各家庭から排出される廃プラスチックの資源化を促し、ごみの排出量の削減に努める。

2 令和5年度（2023年度）の主な事業等

【主な事業】

- （継続）3R活動講座等運営事業
東海市エコスクール関連講座「サステイナブル☆キッズフェスタ2023」及び「リデュースでモノを増やさない！～3Rで創る快適な暮らし～」を開催した。
 - (1) サステイナブル☆キッズフェスタ2023
 - ・開催日 令和5年(2023年)8月5日
 - ・内容 不用品を活用した工作・雑貨製作体験及び3R活動講座
 - ・参加者数 72名
 - (2) リデュースでモノを増やさない！～3Rで創る快適な暮らし～
 - ・開催日 令和5年(2023年)7月8日
 - ・内容 リデュースを意識した収納術や環境に配慮した片付けを学ぶ
 - ・参加者数 31名
- （継続）資源集団回収事業
ごみの減量と再資源化を推進するため、町内会・自治会・子ども会等が行った資源の集団回収を支援した。
 - ・団体数 97団体 ※令和5年(2023年)4月1日時点
 - ・回収品目 紙類、缶類、びん類、布類
 - ・回収量 1,779 t

【改善点等】

3Rを意識した講座として、家の中にモノを入れない、リデュースをメインとした仕組みづくりを学べるセミナーを開催し、好評であった。

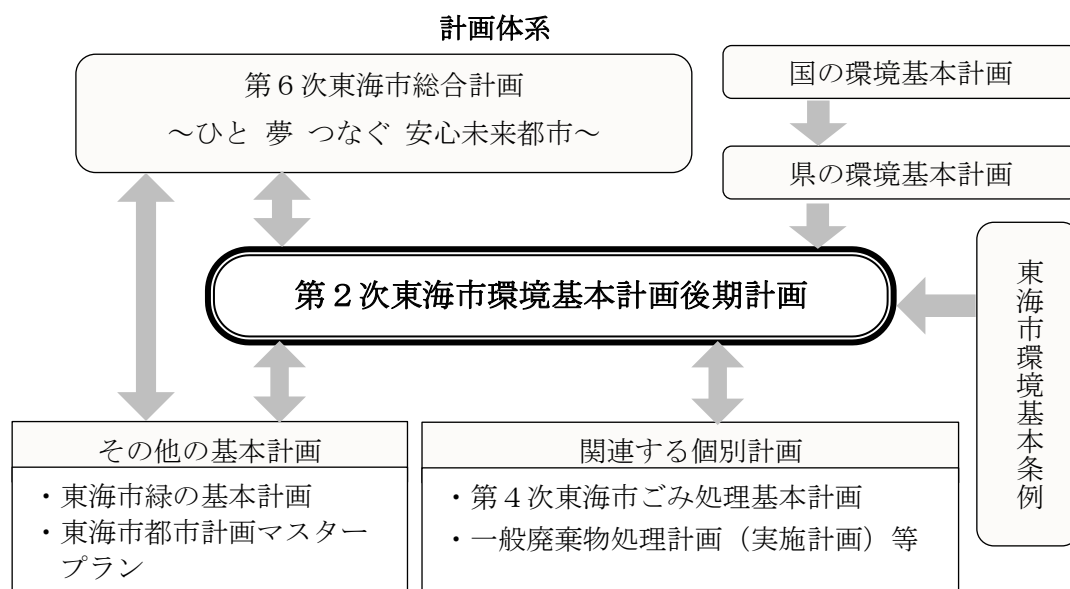
参考資料

1. 環境基本計画の概要

(1).計画の推移及び体系

本市では、平成 17 年(2005 年)に「東海市環境基本条例」を制定し、この条例に基づいて、平成 19 年度(2007 年度)に「東海市環境基本計画」を策定しました。本市は、この計画にビジョンとして掲げた「未来につなぐ 美しいふるさと東海」を実現するため、市民、事業者、地域・団体、行政の協働を推進し、さまざまな環境施策を推進してきました。

平成 28 年度(2016 年度)には、本市を取り巻く課題や社会環境の変化に対応するとともに、環境行政の適切な運用に役立てるため、「第 2 次東海市環境基本計画」を策定し、さらに、令和元年度(2019 年度)には、平成 30 年度(2018 年度)に上位計画である第 6 次東海市総合計画後期計画が策定されたことを受けて、「第 2 次東海市環境基本計画後期計画」を策定しました。



(2).計画の期間

上位計画である第 6 次東海市総合計画の施策や指標との整合性を図るため、次のとおりの期間としています。



(3).計画の推進主体

本計画の推進主体は、市民、事業者、地域・団体、行政です。それぞれの立場でそれぞれの役割を担い、相互に連携を図りながら、積極的に行動することが必要です。

(4).計画のビジョン

本市では、公園や緑地の整備による美しいまちづくりや、下水道整備による河川等の浄化、気軽に健康づくりのできる環境の提供など、市民生活を取り巻く環境の改善に向けた取り組みを行ってきましたが、近年は、地球規模で進む温暖化や、生物多様性に対する環境問題等への関心が高まってきています。

第2次東海市環境基本計画では、東海市環境基本計画のビジョンである「未来につなぐ 美しいふるさと東海」の将来都市像を継承し、環境に配慮したまちづくりと持続可能な循環型社会の実現を目指して、美しいふるさとの東海市を未来に届けていきます。

<ビジョン>

未来につなぐ 美しいふるさと東海

快適な市民生活の再生と創造が進み、多くのひとが環境に配慮した行動を行うことや、身近な場所での生き物とのふれあいを通じて感動が生まれています。

そして、さまざまな世代のひとが健康に暮らしている「美しいふるさと東海市」に愛着を持ち、子どもたちがふるさとに誇りを持って生活している未来へとつなげています。

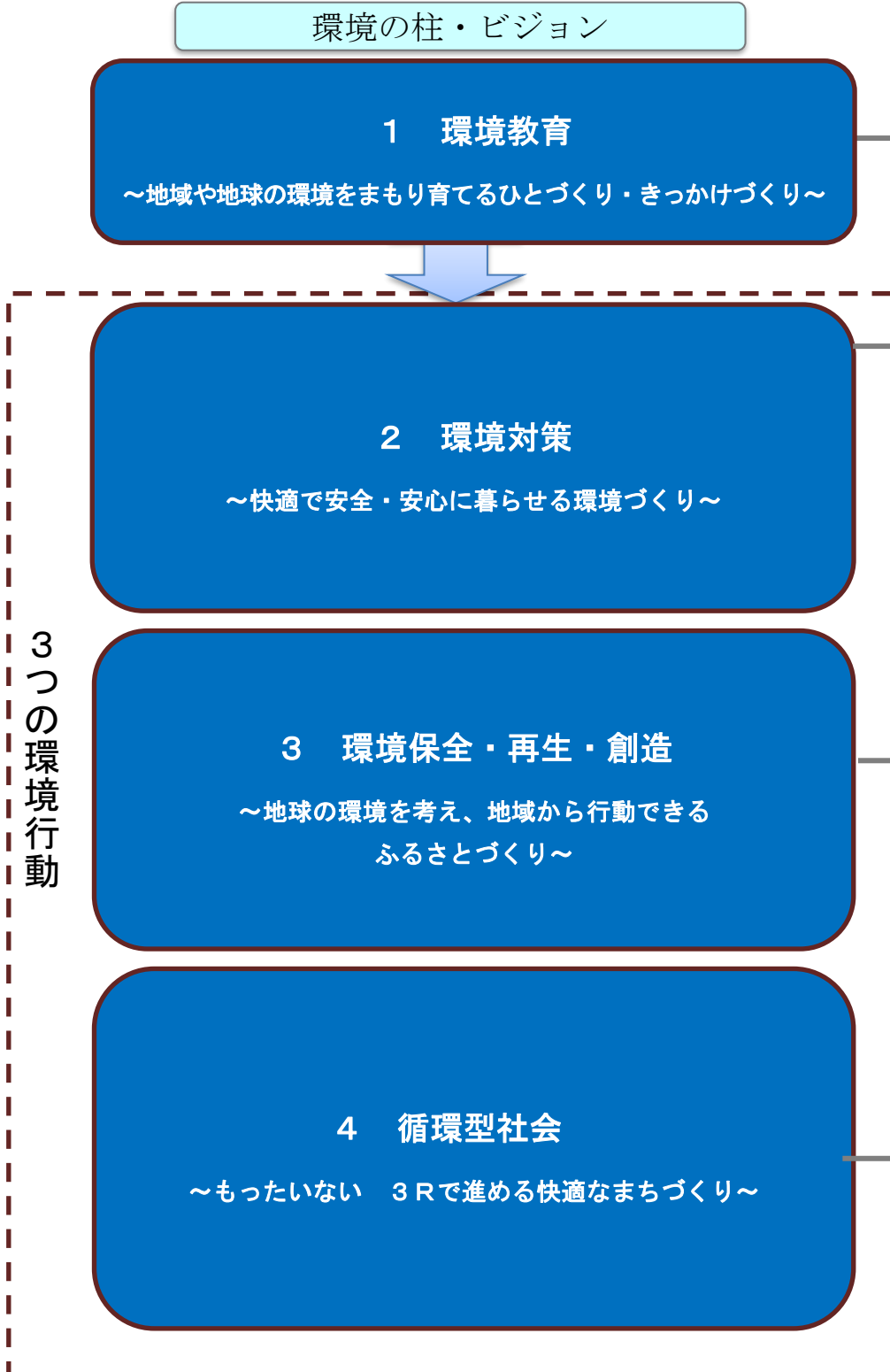
<めざすふるさとの姿>

- 多くの市民が環境にやさしい行動をしています。
- 空気がきれいで、快適に暮らしています。
- 地球温暖化に関心を持つ人が増え、温室効果ガスの排出抑制に努めています。
- 緑（公園・緑地）や水（河川・池）がつながり、生物が身近に生息し、人と自然が共生しています。
- 「もったいない」意識が高まり食品ロスなどが少なく、ごみの分別が徹底され、資源が循環しています。

2. 環境の柱ごとの基本的な施策

1. 体系図

「環境教育」と、「環境対策」、「環境保全・再生・創造」、「循環型社会」の3つの環境行動が連携し、環境ビジョン「未来につなぐ 美しいふるさと東海」の実現を目指します。



環境分野・基本的な施策

行動計画

★環境教育

環境教育を推進する

環境教育・学習の推進

環境保全活動の担い手づくり

★大気・ばいじん

きれいな空気を守る

大気の調査・監視

公害の防止

★悪臭・騒音

悪臭・騒音の発生を抑える

悪臭対策

騒音対策

★水質

生活排水を適切に管理する

水質の調査・監視

水質環境の改善

★地球温暖化対策

低炭素なまちづくりを目指す

省エネルギーの推進

再生可能エネルギーの活用

低炭素型まちづくり

★環境美化

まちの環境美化を推進する

美化活動の推進

★緑・水・生き物

人と自然が共生できるように環境保全活動を推進する

緑地の保全・持続可能な利用

水環境・水循環の保全・持続可能な利用

生物多様性の保全・持続可能な利用

★3R活動

ごみ減量と資源化を推進する

リデュースの推進

リユースの推進

リサイクルの推進

★適正排出・処分

適正にごみの排出・処分を行う

ごみの適正排出・処分

3. 成果指標の算出方法

成果指標		算出方法
環境の柱 1 環境教育		
1	エコスクールの参加者数	1年間のエコスクールの参加者数（事務局、保育園、公募及び関連講座分）
2	生活情報アプリの累計ダウンロード数	1年間の生活情報アプリのダウンロード数
環境の柱 2 環境対策		
3	大気汚染などにより、日常生活に支障があると感じている人の割合	市民アンケートで「はい」と回答した人の数/アンケート回答総数×100
4-1	降下ばいじんの量（市内平均）	市内10箇所ですべて毎月測定した数値の各測定地1年間の平均値の合計/10箇所
4-2	降下ばいじんの量（北部平均）	市内北部地域5箇所（一番畑保育園、名和児童館、名和町吹付、名和東児童館、上野中学校）で毎月測定した数値の各測定地1年間の平均値の合計/5箇所
4-3	降下ばいじんの量（南部平均）	市内南部地域5箇所（ソラト太田川、文化センター、養父児童館、横須賀中学校、三ツ池保育園）で毎月測定した数値の各測定地1年間の平均値の合計/5箇所
5	環境騒音基準値の適合率	環境騒音測定地点（市内6箇所）×2区分（昼間・夜間）で計12測定値が環境基準に適合している割合
6	自動車交通騒音基準値の適合率	自動車交通騒音測定地点（市内5箇所）×2区分（昼間・夜間）で計10測定値が要請限度を超えない割合
7	市内の川の水がきれいであると感じている人の割合	市民アンケートで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100
8	土留木川の BOD 濃度	BOD 濃度の1年間の平均値（土留木川 竜ノ脇交差点）
9	大田川の BOD 濃度	BOD 濃度の1年間の平均値（大田川 大宮橋）

成果指標		算出方法
環境の柱3 環境保全・再生・創造		
10	太陽光発電システムの累計設置件数	中部電力株式会社と売買契約を締結している契約数の累計
11	らんらんバスの年間利用者数	1年間のらんらんバスの利用者数
12	地域内にごみのポイ捨てが目立つと感じている人の割合	市民アンケートで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100
13	地域の清掃活動に参加した人数	この1年間で環境月間及び環境衛生月間の清掃活動に参加した企業・事業所、コミュニティ、町内会・自治会、子ども会、母親クラブなどの合計人数
14	地域の清掃活動に参加した延べ団体数	この1年間で環境月間及び環境衛生月間の清掃活動に参加した企業・事業所、コミュニティ、町内会・自治会、子ども会、母親クラブなどの合計団体数
15	花や緑が充実していると思う人の割合	市民アンケートで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100
環境の柱4 循環型社会		
16	東海市の面積に対する都市公園面積の割合	市内の都市公園面積/東海市の面積×100
17	ごみ減量、リサイクルを心がけている人の割合	市民アンケートで「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の数/アンケート回答総数×100
18	市民一人当たりのごみの総量	【1年間のごみ（家庭系・事業系（可燃物＋不燃物））の清掃センターへの総搬入量＋分別収集・資源集団回収・ごみ集積場で回収した1年間の資源回収量＋市で把握している民間で回収した1年間の資源回収量】/年間日数/人口
19	市民一人当たりの家庭系ごみの排出量	1年間の家庭ごみ（可燃物＋不燃物）の清掃センターへの総搬入量/年間日数/人口
20	事業系ごみの総排出量	1年間の事業系可燃ごみの総重量＋事業系不燃ごみの総重量
21	プラスチック製容器包装の不適合混合率	1年間に回収したプラスチック製容器包装の不適合物の混入割合。 プラスチック製容器包装に含まれる不適合物の総重量/プラスチック製容器包装収集量の総重量

4. 成果指標一覧表

	成 果 指 標	基準値 H24	R5	めざそう値(R5) めざす方向性
1	エコスクールの参加者数	971 人	1,112 人	↗
2	生活情報アプリの累計ダウンロード数	-	22,094 件	↗
3	大気汚染などにより、日常生活に支障があると感じている人の割合	45%	54.8%	40%
4	降下ばいじんの量(市内平均)	3.9t/km ² ・月	3.7 t/km ² ・月	3.3 t/km ² ・月
4-2	降下ばいじんの量(北部平均)	2.8t/km ² ・月	2.8 t/km ² ・月	2.5 t/km ² ・月
4-3	降下ばいじんの量(南部平均)	4.9t/km ² ・月	4.5 t/km ² ・月	4.0 t/km ² ・月
5	環境騒音基準値の適合率	66.7%	75.0%	↗
6	自動車交通騒音基準値の適合率	80%	100%	↗
7	市内の川の水がきれいであると感じている人の割合	26.4%	30.5%	30.9%
8	土留木川の BOD 濃度	16.0mg/ℓ	6.1 mg/ℓ	↘
9	大田川の BOD 濃度	2.6 mg/ℓ	2.0 mg/ℓ	↘
10	太陽光発電システムの累計設置件数	1,742 件	4,825 件	↗
11	らんらんバスの年間利用者数	290,880 人/年	315,592 人/年	↗
12	地域内にごみのポイ捨てが目立つと感じている人の割合	58.3%	46.9%	50%
13	地域の清掃活動に参加した人数	18,453 人	4,358 人	↗
14	地域の清掃活動に参加した団体数	129 団体	63 団体	↗

		基準値 H24	R5	めざそう値(R5) めざす方向性
15	花や緑が充実していると思う人の割合	72.7%	75.2%	78%
16	東海市の面積に対する都市公園面積の割合	2.4%	3.0%	↗
17	ごみ減量、リサイクルを心がけている人の割合	90.1%	88.9%	95%
18	市民一人当たりのごみの総量	995g/人・日	805g/人・日	900 g/人・日
19	市民一人当たりの家庭系ごみの排出量	552 g/人・日	438 g/人・日 ※	↘
20	事業系ごみの総排出量	9,753 t	9,419 t ※	↘
21	プラスチック製容器包装の不適合物混合率	8.0%	6.0%	↘

※公共施設から排出されたごみについて、令和4年度（2022年度）より家庭系ごみから事業系ごみに分類を変更したことから、従前の分類で算定した場合、19番は502 g/人・日、20番は7,684tとなるもの

5. 計画推進の検討過程

- 令和6年（2024年）5月21日 第1回東海市環境基本計画推進委員会
「年次報告書の成果指標の評価について」

6. 環境基本計画推進委員会委員名簿

本年次報告書の作成にあたり、検討を行った委員を掲載

令和6年（2024年）4月時点

役 職	所属部会	氏 名	区 分
委 員 長	社 会 環 境	山 本 隆 明	事業者を代表する者
副 委 員 長 社会環境部会長	社 会 環 境	寺 島 賀 子	NPO を代表する者
副 委 員 長 生活環境部会長	生 活 環 境	吉 原 雅 哉	事業者を代表する者
副 委 員 長 廃棄物・リサイクル 部会長	廃棄物・リサイクル	榊 原 弘 之	事業者を代表する者
委 員	社 会 環 境	近 藤 高 史	事業者を代表する者
〃	〃	牲 川 順 一	事業者を代表する者
〃	〃	龍 田 昭 一	市内に在住する者
〃	生 活 環 境	南 川 陸 夫	NPO を代表する者
〃	〃	武 富 時 満	NPO を代表する者
〃	〃	吉 鶴 弥 生	市内に在住する者
〃	〃	加 古 博 之	市内に在住する者
〃	廃棄物・リサイクル	早 川 権 慈	NPO を代表する者
〃	〃	毛 利 まり子	NPO を代表する者
〃	〃	田 中 治 幸	市内に在住する者
〃	〃	森 岡 良 枝	市内に在住する者

令和6年度（2024年度）版
環境基本計画年次報告書

●発行

令和6年（2024年）7月

●編集

東海市 環境経済部 生活環境課
リサイクル推進課

東海市環境基本計画推進委員会

●お問い合わせ先

東海市 環境経済部 生活環境課
〒476-8601 愛知県東海市中央町一丁目1番地
TEL 052-603-2211/0562-33-1111
FAX 052-603-6910
URL <http://www.city.tokai.aichi.jp>
E-mail kankyou@city.tokai.lg.jp
